

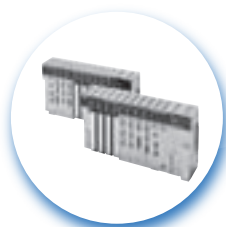
# BUSINESS REPORT 2011

## SUZUDEN CORPORATION

株主の皆様へ

**第59期 報告書**

平成22年4月1日 ▶ 平成23年3月31日



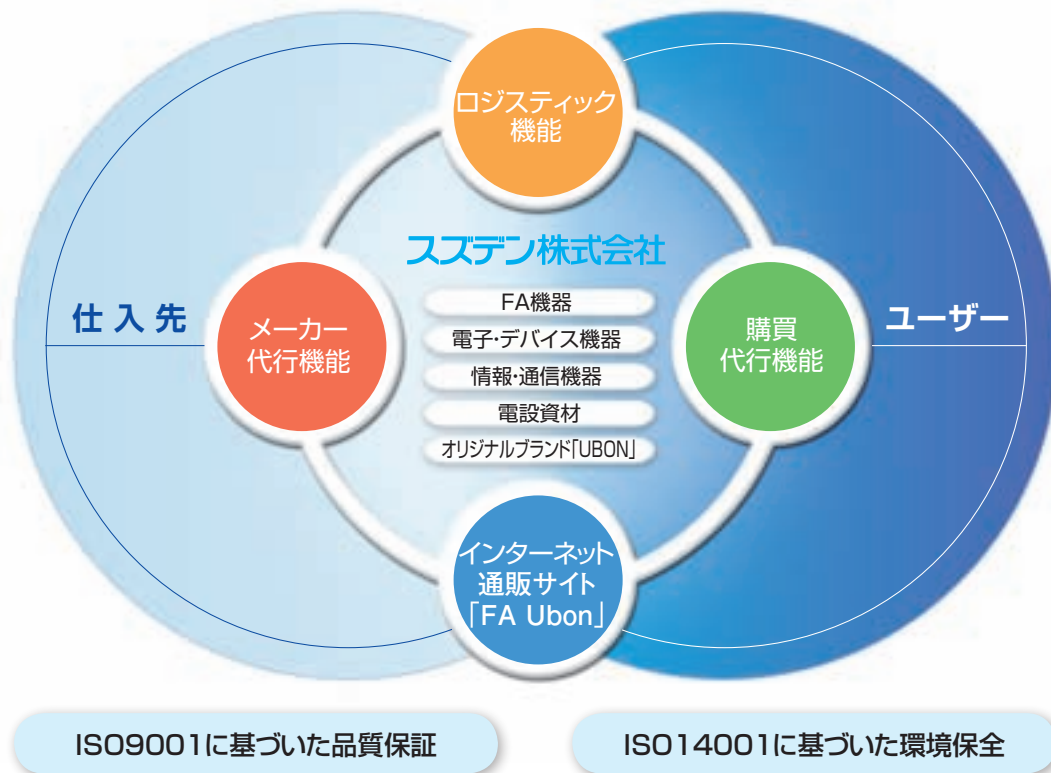
 **スズデン株式会社**

証券コード：7480

# もの造りサポーティングカンパニー

当社は、FA機器、電子・デバイス機器、情報・通信機器、電設資材等の国内有力メーカー約1,000社の仕入先と、さまざまな業界の約5,000社を超えるユーザー企業を結び、もの造りに不可欠なトータルソリューションを提供する技術商社です。

当社のシステムエンジニアによる技術支援を柱に、高機能商品・システムのご提案やアプリケーションソフトのご提供をメーカーに代わって行う「メーカー代行機能」、独自の情報・物流システムで構成される「ロジスティック機能」、お客様の一括購買を代行する「購買代行機能」、インターネット通販「FA Ubon」、お求めやすい価格・小ロット購入にお応えするオリジナルブランド「UBON」などの機能を最大限に発揮し、広くもの造りの現場に貢献しています。





代表取締役社長  
佐々木 秀明

平素は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。このたびの東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社では、平成22年11月に竣工し、12月より稼働を開始していた大和工場において、この震災により一部損傷を受けましたが、修復を完了しております。

第59期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)は、業績が回復し、増収増益となったことから、利益状況や配当性向、今後の業績等を総合的に勘案し、期末配当を1株当たり11円(年間配当16円)といたしました。

東日本大震災により、サプライチェーンの寸断等、わが国経済は大きな打撃を受けております。

当社は、「もの造りサポーティングカンパニー」として、この震災からの復興に貢献することが使命であると認識しております。

株主の皆様には、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

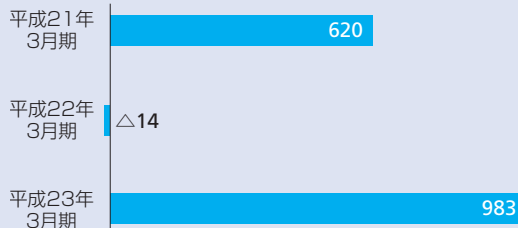
平成23年6月

## 連結決算ハイライト

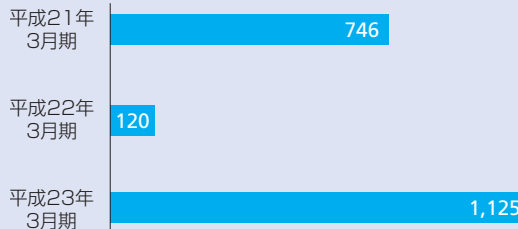
### ○ 売上高 (単位: 百万円)



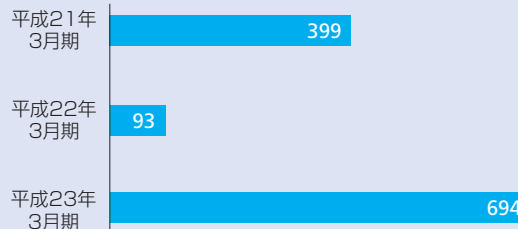
### ○ 営業利益 (単位: 百万円)



### ○ 経常利益 (単位: 百万円)



### ○ 当期純利益 (単位: 百万円)

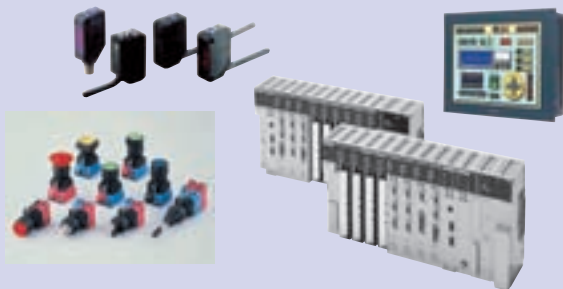


# FA機器

売上高

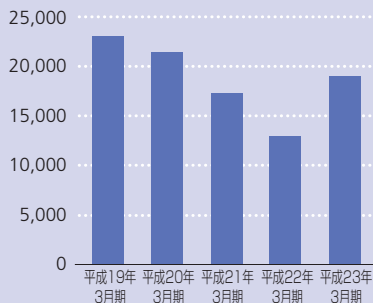
**19,026** 百万円 (構成比55.3%)

制御機器、センサー、表示機器、PLC等の販売が大幅に増加し、売上高は190億26百万円(前期比46.2%増)となりました。



売上高

(単位:百万円)



売上高

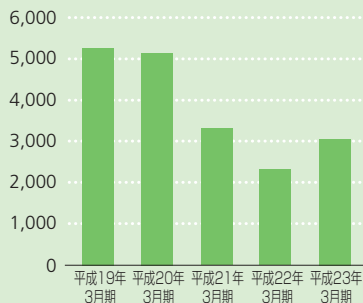
**34,**

組込用ボードコンピュータ、パソコン本体、ケーブル等が大幅に増加し、売上高は30億59百万円(前期比31.8%増)となりました。



売上高

(単位:百万円)



# 情報・通信機器

売上高

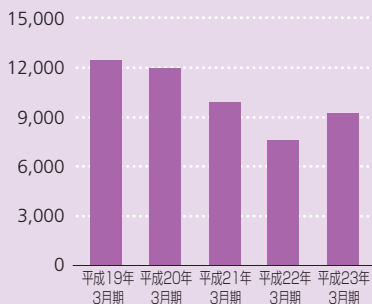
**3,059** 百万円 (構成比8.9%)

# 電設資材

売上高

**9,281** 百万円 (構成比26.9%)

○ 売上高 (単位:百万円)

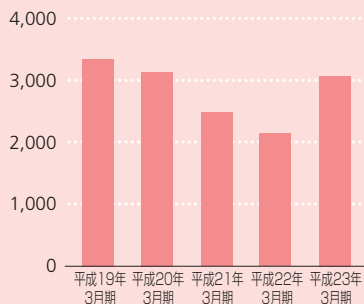


ケーブルアクセサリ、照明器具、ボックス、電線・ケーブル、工事材料等が大幅に増加し、売上高は92億81百万円(前期比22.3%増)となりました。



**442**  
百万円

○ 売上高 (単位:百万円)



コネクタ、基板搭載用電源、ノイズフィルター等が大幅に増加し、売上高は30億74百万円(前期比43.1%増)となりました。



売上高

**3,074** 百万円 (構成比8.9%)

# 電子・デバイス機器

# 新しい発想とアプローチで さらなる顧客満足度の向上を目指す

「もの造りサポーティングカンパニー」の真価が問われる時

**Q** 第59期の業績についてお聞かせください。

**A** 上期は、当社の主要顧客である半導体・液晶製造装置関連機器メーカー、産業機械メーカーの回復により、当社業績も堅調に推移しましたが、下期は、在庫調整・円高の影響を受け、回復が鈍化し横ばいで推移しました。

その結果、連結売上高については、期初の計画値に届かず、344億42百万円（前期比37.4%増）となりましたが、利益面では、ローコストオペレーションの取り組みが進んだことで、営業利益9億83百万円（前期は14百万円の営業損失）、経常利益11億25百万円（前期比831.2%増）、当期純利益6億94百万円（前期比643.6%増）と増益となりました。

**Q** 利益を大幅に押し上げる結果につながったローコストオペレーションの推進について、具体的な取り組み内容を教えてください。

**A** 第59期に、もっとも大きな成果を上げたのは、物流コストの改善です。すべてのお客様に対して、東京物流センターから一括配送する体制を整備したほか、物流コストに占める割合の大きい運送コストの低減化を進めました。また、一部の仕入先様にご協力いただき、仕入先様を巡回して、製品を集荷する体制に変更しました。こうした体制を整備したことで、直接的に運送コストの低減化が図られただけでなく納品時間が一定となり、東京物流センター内での作業の効率化も進み、作業時間を短縮することができました。

さらに、配送コストの増加に直結する誤出荷を

削減する取り組みにも着手しました。バーコードシステムによる検品システムや自動入荷登録システムを確立したことで、入荷登録・出荷検品の作業が軽減できました。出荷精度・作業効率の向上、作業時間の短縮を同時に実現でき、ローコスト体制を構築することができたと認識しています。

また、社内のネットワークの通信回線およびIT機器の見直しなども実施したほか、すべての事業活動に関わるランニングコストの圧縮も積極的に進めています。第60期は、これまでの改善例を他部署へ横展開しながら、活動を拡大していきます。

**Q** 第59期に取り組まれた「顧客の深耕・取引拡大と新規開拓」の進捗状況とその成果について教えてください。

**A** 当社は、「もの造りサポーターズカンパニー」という原点に立ち、新しい発想とアプローチで、顧客満足度を向上させる施策を継続・発展させてきました。また、第58期より「リバーズ・スズデン」をキーワードとして、さらなる販売力強化と商品の販路の拡大に力を入れています。

第59期は、営業力強化策として、引き続き「顧客の深耕・取引拡大」に努めました。「お客様の生産現場にとって良いことをいかに提案するか」を考へ方のベースに、お客様をより深く知り、お客様が

代表取締役社長  
佐々木 秀明



まだ気づいていない改善テーマを発見し、付加価値の高いサービスを提案してきました。お客様自身についてはもちろん、お客様の業界のこと、製造工程の流れなど、お客様のビジネスに関してより深く知るとともに、対話によるコミュニケーションを通じて深耕を図っています。

また、「出前展示会」を積極的に開催しています。当社が取り扱っている製品の中から、お客様の業務に必要と見込まれる製品・サービスを抽出し、お



お客様の職場・現場に出向き、実際に触れていただく活動で、第59期は約130回の展示会を実施しました。従来から取引のあった部署だけでなく、他部署へ新たな展開も図れるほか、深耕の機会となることから、今後も注力していきます。

**Q** また、重点施策のひとつ「小口取引ビジネスの強化」についてはいかがですか。

**A** 当社では、研究・開発段階の部材選びやメンテナンス、定常的な利用等で、お客様が必要に合わせ、小口で購入できる販売体制を整えています。

FA機器、ネットワーク関連機器、電設資材などを総合的に販売する店舗「俺コンアキバ(秋葉原)」を運営しているほか、インターネット通販サイト「FA Ubon(エフエー ユーボン) (<http://fa-ubon.jp/>)」も展開しています。

第59期は、「FA Ubon」に法人会員制度を導入し、取り寄せ注文を可能にしたほか、製品情報の充実にも努めるなど、特にインターネット通販サイトの機能強化に力を入れました。第60期も、すべてのお客様に向けた情報発信の場として、コンテンツ強化・機能充実に積極的に投資し、インターネット取引の拡大を目指します。また、オリジナルブランド「UBON」の製品群も拡大し、販売を強化していきます。

**Q** 注力業界として掲げられた、環境・食品・二次電池業界への拡販は進んでいますか。

**A** 環境関連では、環境配慮型商品の販売のみならず、付加価値の高いサービスの提供に努めており、特に照明器具やバッテリーを貸し出し、使用后、当社で回収して適切な処理を行う「安心サービス」はサービス開始以来、高い評価をいただいています。また、需要が増加している電力監視システムの販売、省エネにつながるLED照明や太陽光発電などの提案にも力を入れています。

食品関連については、食品メーカーに加え、食品製造装置・包装機械メーカー等に営業活動を展開し、順調に取引先数を伸ばしています。

二次電池関連については、二次電池製品を製造している企業向けへの製品提供と、当社で二次電池を販売するという2つの取り組みを進めています。

**Q** 海外展開についてお聞かせください。

**A** 中国を中心にお客様の製造移転が増えている中、上海子会社の機能強化・拠点の拡大を通じ、海外サポート体制を整える計画を進めています。中国での生産需要に応え、いかに製造現場でお役に立てるかを考えながら、アジア向け事業を拡大し



ていく計画です。

## Q 来期の見通しはいかがですか。

A このたびの震災の影響により、仕入先様の生産状況が不透明であり、当社への入荷状況の把握が困難なことや、一部商品では出荷調整が行われており、不確定要素が多い状況です。

今後は、素材や電子部品の供給不足や電力不足等による生産活動の停滞が予想され、上期の景況は厳しい状況で推移するものと予測していますが、下期からは、生産活動や設備投資の回復も徐々に進み、景況は緩やかながら回復に向かうものと見込んでいます。

平成23年5月10日に公表した平成24年3月期の連結業績予想は、売上高はほぼ横ばいで、利益は減少する見込みですが、コストの見直しを常に行い、収益確保に努めていきます。

「もの造りの現場に良いことを徹底的に考え、実行し、お客様の満足度を最大化すること」を常に考え、どのような状況でも、お客様にご満足いただけるサービス・商品・システムを継続的に提案・供給し、次代を切り拓くお手伝いをする、それが当社の存在意義であると考えており、そのために必要な投資は今後も継続していく考えです。

## ○ 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年5月10日公表)

	予想値	前期比
売上高	35,100百万円	1.9% 増
営業利益	790百万円	19.7% 減
経常利益	970百万円	13.8% 減
当期純利益	510百万円	26.5% 減

## Q 最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

A 第60期は「チームワーク」をキーワードに、社内のみならず、お客様、メーカー様ともコミュニケーションを図り、分かり合い、もの造りの現場をしっかりと支援し、復旧・復興に役立つことで、社会貢献を果たしていきます。

第60期も全社一丸となりチームワークをもって誠実にチャレンジして利益を確保し、株主の皆様へ還元してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## トピックス 1

### 東京物流センターの免震構造が機能

東京物流センターでは免震構造が機能し、このたびの東日本大震災においても商品の落下等による損傷は一切なく、お客様への安定供給を継続することができました。

平成23年4月8日には、東京物流センターの設計・施工にあたり、免震構造をご推奨いただいた大成建設株式会社、設計本部殿に感謝の意を表するため、同社常務執行役員 設計本部長 野呂様に当社会長から改めて感謝状を贈呈いたしました。



感謝状贈呈



免震装置

## トピックス 2

### 地球温暖化防止への取り組み

#### 太陽光発電システムを導入

東京物流センターに太陽光パネル、電力監視システムを導入し、省エネ活動に取り組んでいます。

また、お客様にご見学いただくため、東京物流センターをモデルルーム化しております。



東京物流センターの太陽光パネル



太陽光発電量モニター

#### 生ごみを堆肥に

社内で出た生ごみの堆肥化に取り組んでいます。

NPO法人「緑のごみ銀行」様が行っている腐葉土作りに地域の方と触れ合いながら毎月1回活動しています。

この活動を通して、ごみの削減とリサイクルの大切さを実感しています。

場所：御茶ノ水橋の下（約500㎡）（東京都文京区）

（緑のごみ銀行URL <http://hw001.spaaqs.ne.jp/m53/>）



生ごみ混入作業

## 環境に配慮した事業活動を徹底し、環境保全の輪を広げます。

当社は、「もの造りサポーティングカンパニー」として、地球の環境保全に取り組むことが、当社の持続的な発展のために最も重要な事項のひとつであると認識しております。

本社および物流センターは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しており、今後も当社の事業活動において省エネや廃棄物の低減などの取り組みを継続していきます。また、多くの企業に環境保全を広める活動として、販売活動や商品・サービスを通じて環境問題に取り組んでいきます。

### ■ エネルギー・紙の使用量の削減と廃棄物の量の削減を行い、環境保全に貢献

- 事業活動の環境への影響を評価し、環境負荷低減を推進
- 商品・サービスの環境への配慮

### ■ 地球温暖化抑制に係わる活動推進

- アイドリングSTOPの徹底
- 物流活動における環境負荷低減（通い箱納品の推進等によるエコ物流の実現）
- 「チャレンジ25」への参加
- 太陽光発電システムの導入
- LED照明への切替え

### ■ 既存事業の環境への配慮

- リサイクル活動の推進
- 廃家電・小型二次電池リサイクル活動の推進

環境負荷の低減と  
環境マネジメントの徹底

「ISO14001」認証取得  
・ 認証取得日  
平成14年3月13日  
・ 適用範囲  
本社および物流センター

## 業務に対する取り組み

## 販売商品・サービス事業に対する取り組み

### ■ 「環境配慮型商品」を販売することでお客様の環境負荷の低減に貢献します。

- 新規事業の環境への影響を評価
- 商品・サービスの環境への配慮

### ■ 「循環型機能商品」として

スズデン「安心サービス&サポート」をご提供します。

環境配慮型商品と  
循環型機能商品の販売展開

サービス

スズデン  
安心  
サービス  
&  
サポート

サポート

● あかり安心サービス

● エネルギー（乾電池・バッテリー）安心サービス

● フィルター安心サービス

● グリーンサービス

● グリーン購買サポート

● 診断サポート

● 再資源化サポート

● 物流サポート

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当期末 平成23年3月31日現在	前期末 平成22年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	15,328,284	14,098,304
固定資産	9,133,442	8,955,144
有形固定資産	7,895,612	7,599,223
無形固定資産	109,225	164,864
投資その他の資産	1,128,604	1,191,057
<b>資産合計</b>	<b>24,461,726</b>	<b>23,053,449</b> ①
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,638,356	5,681,922
固定負債	2,291,677	2,479,526
<b>負債合計</b>	<b>8,930,034</b>	<b>8,161,448</b> ②
<b>純資産の部</b>		
株主資本	15,466,629	14,845,526
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,532,607	1,532,607
利益剰余金	12,336,150	11,715,009
自己株式	△ 221,358	△ 221,320
その他の包括利益累計額	34,955	46,474
その他有価証券評価差額金	49,036	60,713
為替換算調整定	△ 14,080	△ 14,239
新株予約権	30,106	-
<b>純資産合計</b>	<b>15,531,692</b>	<b>14,892,000</b> ③
負債純資産合計	24,461,726	23,053,449

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	当期 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	前期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
売上高	34,442,190	25,068,312
売上原価	28,968,029	20,968,409
売上総利益	5,474,161	4,099,902
販売費及び一般管理費	4,490,599	4,114,856
営業利益又は営業損失(△)	983,561	△ 14,953
営業外収益	228,586	233,731
営業外費用	87,126	97,966
経常利益	1,125,021	120,812
特別利益	131,331	170,425
特別損失	37,685	70,164
税金等調整前当期純利益	1,218,667	221,073
法人税、住民税及び事業税	566,130	108,784
法人税等調整額	△ 41,688	18,924
当期純利益	694,225	93,364

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

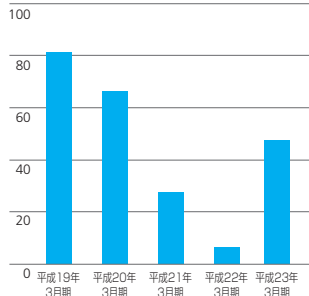
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

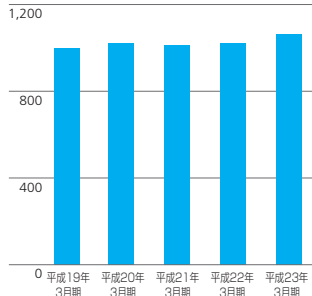
	当期 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	前期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	240,873	978,720 ④
投資活動によるキャッシュ・フロー	751,690	△ 123,457 ⑤
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 324,993	△ 1,334,719 ⑥
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,362	1,310
現金及び現金同等物の増・減(△)額	663,208	△ 478,145
現金及び現金同等物の期首残高	4,002,572	4,480,718
現金及び現金同等物の期末残高	4,665,781	4,002,572

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

### 1株当たり当期純利益 (単位：円)



### 1株当たり純資産 (単位：円)



## 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

当期 平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
平成22年3月31日残高	1,819,230	1,532,607	11,715,009	△ 221,320	14,845,526	60,713	△ 14,239	46,474	—	14,892,000
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 73,084		△ 73,084					△ 73,084
当期純利益			694,225		694,225					694,225
自己株式の取得				△ 37	△ 37					△ 37
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 11,676	158	△ 11,518	30,106	18,588
連結会計年度中の変動額合計	—	—	621,140	△ 37	621,102	△ 11,676	158	△ 11,518	30,106	639,691
平成23年3月31日残高	1,819,230	1,532,607	12,336,150	△ 221,358	15,466,629	49,036	△ 14,080	34,955	30,106	15,531,692

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

## 財務チェックポイント

### ① 資産合計

前連結会計年度末と比べ14億8百万円増加しました。これは主に、流動資産の受取手形及び売掛金の増加11億30百万円、在庫の増加3億54百万円の方で、現金及び預金の減少3億34百万円によるものであります。また、有形固定資産については、主に宮城県黒川郡大和町に建設した大和工場の建物等の取得による増加5億62百万円と神奈川県横浜市保土ヶ谷区の横浜事務所売却による建物等の減少1億18百万円によるものであります。

### ② 負債合計

前連結会計年度末と比べ7億68百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加5億円、未払法人税等の増加4億23百万円の方で、借入金の減少2億34百万円によるものであります。

### ③ 純資産合計

前連結会計年度末と比べ6億39百万円増加しました。これは主に、当連結会計年度の当期純利益の計上6億94百万円と、配当による減少73百万円によるものであります。

### ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に、税金等調整前当期純利益12億18百万円、減価償却費2億6百万円と仕入債務の増加5億1百万円による増加要因、売上

債権の増加11億34百万円、たな卸資産の増加3億56百万円と法人税等の支払額1億48百万円の減少要因によるものであります。

### ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

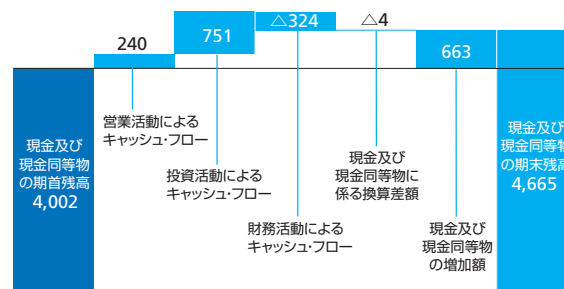
主に、定期預金の払戻および預入による純増額9億98百万円、有形および無形固定資産の売却による収入3億17百万円の増加要因、有形および無形固定資産の取得による支出6億4百万円の減少要因であります。

### ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、長期借入れによる収入4億円、長期借入金の返済による支出6億46百万円、配当金の支払73百万円によるものであります。

## キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



## 会社概要

社名	スズデン株式会社
英文社名	SUZUDEN CORPORATION
創業	昭和23年1月
設立	昭和27年12月
資本金	1,819,230,000円
従業員数	352名(単体)
主な事業内容	FA機器、情報・通信機器、電子・デバイス機器、電設資材等の販売および輸出入業務
連結子会社	スズデンビジネスサポート株式会社 SUZUDEN SINGAPORE PTE LTD 斯咨電貿易(上海)有限公司(SUZUDEN TRADING(SHANGHAI)CO.,LTD)

## 取締役・監査役 (平成23年6月28日現在)

代表取締役会長	鈴木 敏 雄
代表取締役社長	佐々木 秀 明 ※
取締役副社長	臼田 憲 司 ※
取締役	鈴木 茂 司 ※
取締役	梅田 常 和
常勤監査役	加山 宏 義
監査役	桃井 邦 義
監査役	前田 紘 利
監査役	日野 実 利

(注) 1. ※印は執行役員を兼務しています。

2. 取締役 梅田常和氏は、社外取締役です。

3. 監査役 桃井邦義、前田紘利、日野 実の3氏は、社外監査役です。

4. 取締役 梅田常和および監査役 桃井邦義の両氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員です。

## 執行役員 (平成23年6月28日現在)

執行役員社長	佐々木 秀 明
執行役員副社長	臼田 憲 司
上席執行役員	平野 利 晴
上席執行役員	鈴木 茂 信
上席執行役員	今泉 嘉 晃
執行役員	浅井 伸 司
執行役員	春日 忠 智
執行役員	下城 智 治
執行役員	矢野 晃 治

## 営業拠点





## 株式の状況

発行可能株式総数	47,590,000株
発行済株式の総数	15,152,600株
株主数	8,025名

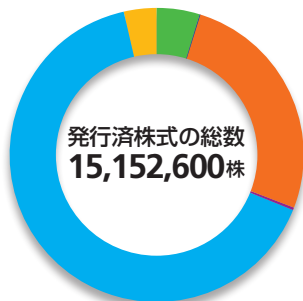
## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
鈴木 敏雄	1,954	13.4
ベル株式会社	1,446	9.9
オムロン株式会社	1,329	9.1
岡野 妙子	754	5.2
鈴木 達夫	727	5.0
鈴木 たか	706	4.8
スズデン社員持株会	316	2.2
株式会社サンセイテクノス	271	1.9
梶山 勝嗣	243	1.7
岡野 淳志	182	1.2

(注) 当社は、自己株式(535,619株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況

■ 金融機関	721,300株	4.8%
■ 証券会社	9,498株	0.1%
■ その他の国内法人	3,952,712株	26.1%
■ 外国法人等	41,586株	0.3%
■ 個人その他	9,891,885株	65.2%
■ 自己名義株式	535,619株	3.5%



## 株主優待制度

### 1 対象者

当社決算期末の3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主様を対象とさせていただきます。(年1回実施)

### 2 贈呈内容

保有年数	優待商品
当社株式保有年数が2年に満たない場合	QUOカード(1枚 1,000円)1枚
当社株式保有年数が2年を超える場合	QUOカード(1枚 1,000円)2枚

### 3 贈呈の時期および方法

毎年、当社決算期末の3月31日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に、7月上旬までに発送いたします。

### 4 保有基準の確認

毎年、当社決算期末の3月31日を基準として、過去2年間の中間期および期末期において、継続して所有し、株主名簿に同一株主番号として記載された株主様といたします。

(例) 平成23年3月期末における2年を超える保有の確認は、平成21年3月31日の株主名簿から平成23年3月31日までの中間期・期末期の株主名簿に同一株主番号として記載された株主様といたします。(次回以降も毎年決算期末の3月31日を基準として、同様の方法で確認いたします。)



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月中に開催
- 剰余金の配当の基準日 1.期末配当 3月31日  
2.中間配当 中間配当を実施するときは9月30日
- 単元株式数 100株
- 基準日 1.定時株主総会については3月31日  
2.その他必要がある場合は、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払(※)、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金のみ、みずほ銀行株式会社 全国本支店でもお取扱いたします。

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事由により電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL (<http://www.suzuden.co.jp/>)

## ホームページのご紹介

投資家の皆様に、充実したIR情報をいち早くお届けします。

最新情報や財務データ、株式諸手続きのご案内などをご覧いただけます。



<http://www.suzuden.co.jp/>

### インターネット通販サイト



<http://fa-ubon.jp/>

便利な締日払い、原則送料無料で法人会員制度をぜひご利用ください！



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目2番2号  
TEL 03-5689-8001 FAX 03-5802-6764  
ホームページアドレス <http://www.suzuden.co.jp/>  
FA Ubonアドレス <http://fa-ubon.jp/>